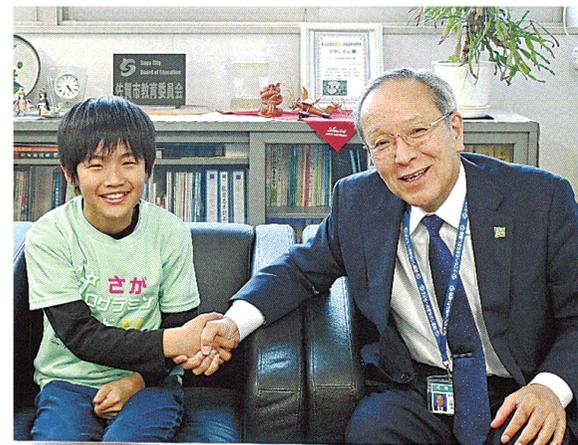


プログラミング全国大会「頑張る」

巨勢小5年・吉田さん、佐賀市教育長に抱負



全国大会に向けて意気込みを語る吉田一貴さん(左)と丹宗成一教育長―佐賀市役所大財別館



佐賀市

3月8日に
東京で開かれ

る「全国選抜小学生プログラミング大会」(全国新聞社事業協議会主催)に佐賀県代表として出場する巨勢小5年の吉田一貴さんが18日、佐賀市の丹宗成一教育長を尊敬訪問し、「落ち着いて発表して頑張る」と抱負を語った。吉田さんは謎の部屋に閉じ込められたという設定で、環境問題や交通ルールのクイズを解いて脱

出するゲームを制作した。

丹宗教育長には、「ごみを捨てたキャラクターが反省する様子などをアニメーションで表現し、全国大会に向けて小さな子どもでも遊べるモードを追加し完成度を高めたことを紹介。「悪い行いを受け止めて向き合うことができれば、きっと未来はよりよい世界になる」と作品に込めたメッセージを伝えた。

丹宗教育長は「好きなことを続ければ、自分の力が見えていく。今後も人の生活を豊かにするようなプログラムを作ってほしい」と激励した。

吉田さんは昨年12月に開かれた「さがプログラミングアワード2025」(佐賀新聞社主催、特定NPO公共デザインイニシアティブ共催、学映システム特別協賛)の高学年の部で大賞に輝いた。全国大会は作品に込めた思い、特徴などを3分間でプレゼンテーションし、発想力や表現力、技術力を競う。

(沖田日和)

